



公民館講座

「切り絵教室」

講師が用意してくれたアサガオ、スイセン、ユリ、オダマキなどのたくさんの花の図案からそれぞれ好みの柄を選び、デザインナイフで慎重にカットしました。

慣れない細かい作業で余計な力が入ってしまい、誤ってカットしたりと大変でしたが、和紙や顔彩（主に日本画で用いられる固形絵の具）で色を付け、額に入るとそれぞれ素敵な作品に仕上がりました。



◆内容

- p.25 「みんなの宝物」(布引電気鉄道跡)ほか
- p.26 【募 集】第40回 小山敬三記念小諸公募展
第33回 小諸・藤村文学賞
【川 柳】(柳好会)ほか

- p.27 【報 告】公民館関係役員研修会
【ご案内】令和9年二十歳を祝う会について ほか
- p.28 8・9月 公民館講座
- p.29 「ぼくとわたしの作品」(美南ガ丘小学校)



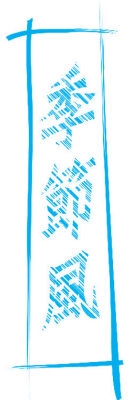
カラー版はこちら

私が生まれたのはちょうど40年前の7月。夏生まれのせいかわ、私は暑い夏の日が好きです。ただそんな私ですら近年は暑い日が多いと感じるので、私の生まれた40年前と現代とを最高気温に焦点を当てて比較してみようと思います。

気象庁のデータによると、1986年7月の長野県佐久地域で最高気温が30℃を超えた日数は、27日から31日の5日です。それが昨年の2025年7月では最高気温30℃を超えた日数は27日。雨が降った日の前後しか30℃を下回った日はありませんでした。最高気温の平均は1986年7月が26.5℃、2025年7月が32.9℃と6.4℃の差があります。データを目の当たりにすると、近年の夏は異常なほどに暑いことがわかります。

「念力のゆるめば死ぬる 大暑かな」
 これは明治から昭和初期に活躍した、俳人・村上鬼城の句です。気を抜くと参ってしまうほどの夏の暑さを詠っています。皆様も気を抜かず、体調や熱中症には十分に気をつけて、楽しい夏をお過ごしください。

編集委員 高見澤翔吾



みんなの宝物



「布引電気鉄道跡を訪ねて」

小諸市動物園は1926年(大正15年)の開園から今年で100周年を迎えましたが、同じく100年前に、小諸駅から島川原駅(現島川原発電所付近)までの7.4km間を走っていた電車「布引電気鉄道」の存在を皆さんはご存知でしょうか。

詩情あふれる「高原の城下町小諸」が北佐久郡小諸町と言われていた時代です。

戦前、信州の商都として栄えた小諸にはまず、1888年(明治21年)に信越本線(現しなの鉄道)の駅が開業、1915年(大正4年)に小海線が開通。それから11年後に、小諸の商人たちが発起人となり、商圏拡大と観光開発、川西地区の発展に

夢を託し開通にぎょつきました。

全長9mの茶色い一両編成の電車は42人乗り。時速は30km、所要時間は片道27分、一日18往復運転されていました。

将来は望月まで路線の延伸計画が描かれていたようでしたが、不運にも昭和初期の大不況に見舞われ、期待どおりに利用客が伸びず、「しじゅうから(始終空)の「小鳥電車」と揶揄され、僅か8年の短命で休業。再開することなく惜しまれながら廃線の運命となりました。

先日、懐古園三の門前から布引駅跡まで、当時の面影を辿ってみました。しなの鉄道と並行してしばらく移動。程なくして左側に分かれ芦原中学校前を通り過ぎ、両神団地を過ぎた辺りから下り坂が続く。スタート地点から2.8km近辺に押出駅跡が確認できます。

その左手には当鉄道に関する詳細な説明板があり、当駅はスイッチバック式が採用されていたことを初めて知りました。

その先、春先には見事な桜回廊が600m続き、地元や廃線ウォークの人たちの目を楽しませてくれています。

千曲川に到着すると、川岸には石積でモルタル施工された円筒形の橋脚を見ることができるとともに、千曲川を隔てたその先の布引観音への入口付近



押出駅跡にある説明板



布引側から望む千曲川岸に立つ橋脚

の道路脇に、石で築かれたプラットホームが現存しており、表示はないものの布引駅跡と確認できました。

千曲川の川岸で鉄橋を支える使命を終えた後に、幾多の洪水に耐え、悠長の時を越えて100年もの長い間立ち続ける一本の橋脚に哀愁を感じながら、布引電気鉄道が走っていたことを伝える小諸市の歴史的な鉄道遺構として、今後も朽ちることなく後世にその面影を伝えていくと欲しいと願っています。

編集委員 小田中 衛



見事な満開の桜回廊 押出駅跡付近
2026年4月10日撮影

公民館まつりに参加してみませんか？

第42回公民館まつりの開催に伴い、今年も下記のとおり募集します。

【開催期間】10/10(土)・11(日) 【場 所】小諸市文化センター

【内 容】

- ホール発表：大きな舞台上で日頃の成果を披露
- 実演・体験：日頃の活動を実演したり、来場者に体験してもらう
- 作品展示：自信作・力作を展示

【参加対象】市内で活動中のサークル、団体

【申込締切】7/10(金)

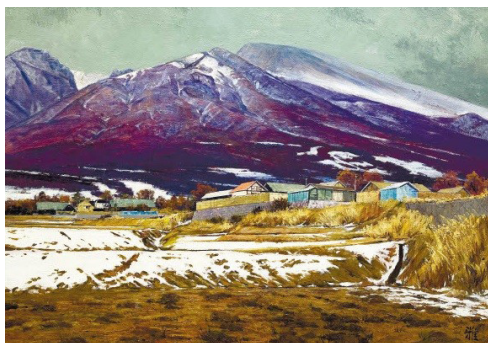
参加申し込みは
コチラ→



申込・問合せ先 小諸市公民館 ☎0267-23-8880



《作品募集》第40回 小山敬三記念小諸公募展



第39回公募展
「小山敬三記念大賞」受賞作品
《霊峰浅間山》
早川政信（埼玉県）

【作品テーマ】浅間山、千曲川、小諸及びその周辺を題材とした「具象の風景画」
(文化や行事を題材にしたものを含む)

【作品規格等】・油彩画、水彩画、日本画、版画の平面作品
・未発表の作品(1人3点まで)
・F10号以上F50号以下で、不定形のもの是对象外
(Sの場合は40号以下)
・必ず額装し、吊り金具・吊り紐を付ける
(仮縁を推奨、ガラス不可・アクリル可)

【出品料】1点3,000円(2点目から2,000円)
高校生・大学生 1点につき1,500円

【作品搬入日】10/9(金)、10/10(土)、11/11(日) 9:00～16:30

【入賞・入選】小山敬三記念大賞、長野県知事賞、小諸市長賞ほか、
第40回記念特別賞、各協賛企業賞など多数

【応募方法】所定の申込用紙に必要事項を記入し、作品・出品料を提出

※詳しくは、下記の実行委員会事務局へお問い合わせください。「応募要項」をお送りします。



▼問合せ先

公募展実行委員会(事務局:小諸市立小山敬三美術館内)
TEL 0267-22-3428

▼作品搬入場所

市立小諸高原美術館・白鳥映雪館
TEL 0267-26-2070

《作品募集》第33回 小諸・藤村文学賞

【作品内容】エッセイ(随筆)に限る(小諸や藤村に関わりがなくてもよい)

※高校生・中学生は、日常生活体験に自分の思いや考えを表現した内容とする。

【募集対象】一般の部/高校生の部/中学生の部

【入選作品】・各部最優秀賞:1名/優秀賞:2名/佳作:若干名

・市長賞(一般の部1名)/教育長賞(中・高生の部各1名)/奨励賞(若干名)
(小諸市民及び小諸市の中学校、高等学校に学ぶ生徒の優れた作品)

【応募方法】・一般の部:400字詰め原稿用紙10枚程度(上限11枚)

・中高生の部:400字詰め原稿用紙5枚程度(上限6枚)

※原稿用紙右側余白に縦書きで「郵便番号・現住所」次の行に「氏名(フリガナ)・年齢・電話番号」を明記
(中・高生は氏名の前に「学校名・学年」を明記)

・応募作品は1人1編で、未発表の作品に限る

※入賞作品の著作権は、主催者「小諸市」に帰属し、応募作品の返却はいたしません。

【賞状・賞金】一般の部:賞状及び副賞(賞金)※市長賞・奨励賞は賞状のみ

中高生の部:賞状及び副賞(図書カード)※市長賞・教育長賞・奨励賞は賞状及び副賞(図書カード)

【締切日】一般の部:2027年1月31日(日)(当日消印有効)/中高生の部:2026年11月30日(月)(当日消印有効)



▼作品送付先及び問合せ先

〒384-8501 小諸市相生町三丁目3番3号

小諸市教育委員会「小諸・藤村文学賞」事務局宛 TEL 0267-22-1700(内線2281) / FAX 0267-23-8857

◇◇◇◇◇ 新盆見舞いについて ◇◇◇◇◇

小諸市公民館(小諸市文化センター内)では、「新盆見舞い申し合わせ事項」の張り紙を用意しています。利用される方は、小諸市文化センターまでお越しください。(小諸市役所市民課でも受取可能)

また、小諸市公式サイトからダウンロード・印刷していただくこともできます。

床ずれを作らず介護天使の手 三石 恭子	お父さん禁煙できて居場所でき 土屋 正示	幸せは願い叶って過す日々 田中 とし子	あのころのわたしは多分あの子ども 笹川 理恵	タイマーに次の仕事を指示される 桜井 眞紗子	大笑いしながら吐いた嘘ひとつ 掛川 タユ子	いつまでも縁が切れない欲の虫 甘利 洋子	わがままは心の中の戦いだ 井出 意作	川柳好会
------------------------	-------------------------	------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------	------

報告

公民館関係役員研修会



支館役員の紹介

5月8日(金)小諸市公民館にて、第1回公民館関係役員研修会が行われ、冒頭事務局より編集委員を含む支館関係役員の紹介がありました。

次に、小諸市公民館長より、戦後まもなくからの公民館の歴史と現状、課題が伝えられました。続いて、本年度の運営方針について説明がありました。

その後、10班に分かれて情報交換会が行われました。私が参加した班では、次のような議題について、意見交換をしました。

①分館の敬老会(高齢者クラブ)についてどのように行なっているか。

②盆踊り・夏祭りのあり方や実



情報交換会の様子

【付記】
意見交換会では、この他に「分館の活動が固定化しがち。ほかの区のイベント等を参考にしたいが、新しい事業に取り組みたいが、各区の情報が少ない」などの意見をお寄せいただきました。

公民館報編集事務局

③役員選出についての苦労や工夫について。
各分館・支館の実績や悩みなど具体的な話題が出され、参考になりました。

編集委員 川崎 めぐみ

令和9年「二十歳を祝う会」について ~出席希望者ならびに実行委員の募集~

令和9年「二十歳を祝う会」の日程について、以下のとおりお知らせします。

- 開催日時 **令和9年1月3日(日) 14時~(予定)**
 会場 小諸市文化会館(小諸市文化センター内)
 出席対象者 平成18年4月2日から平成19年4月1日生まれの
 市内在住者または市内出身者
 ※案内状は11月下旬以降順次発送予定です。



式典参加希望の申し込みはコチラ↑

●上記に合わせて、市外転出者の参加希望ならびに実行委員を募集します。

○市外転出者の参加希望受付

対象者の内、令和8年11月1日時点で市外へ転出している方が参加を希望される場合は、右記の申込フォームもしくは電話にてご連絡ください。

○実行委員の募集

「二十歳を祝う会」の内容を企画・運営する実行委員を募集します。
 懐かしい仲間と共に思い出に残る式典を作ってみませんか？

【募集内容】

- 対象者 上記「二十歳を祝う会」出席対象者
 活動内容 式典の内容や記念品を検討する会議(数回)、および当日の準備・運営
 申込方法 氏名・住所・電話番号を下記メールへお知らせください。
 その他 連絡は主にメールにて行います。
 また会議はオンラインでの参加も可能です。



「令和8年二十歳を祝う会」の実行委員の皆さん

☎ 小諸市文化センター ☎ 0267-23-8880 ✉ bunka@city.komoro.nagano.jp

7/1(水) 施設予約開始

※予約はオンラインのみ。事前利用者登録が必要です。



施設名	利用月	施設名	利用月
公民館	令和8年9月	文化会館	令和9年7月

8・9月公民館講座

小諸市文化センター
☎0267-23-8880



STEP UP 脳トレ・健康麻雀

点数計算を覚えよう!【全3回・火曜日開催】
講師: マージャンカフェ〜楽〜主宰 白井新悟さん
◇日時 8/25・9/8・9/29 13:30～15:30
◇場所 視聴覚室
◇定員 12名
◇費用 無料
◆申込 7/16(木)～30(木)



健康ダンス講座

子どもから大人まで初めての人でも楽しく踊れる健康ダンス
【全3回・日曜日開催】
講師: 土屋芳美ジャズダンス教室主宰 土屋芳美さん
◇日時 8/30・9/13・10/4 10:30～11:30
◇場所 乙女湖体育館 ◇定員 20名
◇持ち物 上履き、ヨガマット、飲み物、タオル
◇費用 無料 ◆申込 7/22(水)～8/5(水)

夏休み子ども講座

巨大流しそうめん

竹を活用してみんなで巨大流しそうめん台を作ろう!
講師: October Deer 代表 杉山 隆さん
◇日時 7/31(金) 9:00～12:00
◇場所 安藤百福センター
◇定員 小学生15名(3年生以下は保護者同伴)
◇費用 500円(同伴保護者も同額)
◆申込 6/30(火)～7/10(金)



親子工作教室

自然素材を使って親子で楽しく工作しよう
講師: フラワーアーティスト 小野原せいりかさん
◇日時 8/4(火) 10:00～11:30
◇場所 第一講義室
◇定員 親子30組
◇費用 1,000円
◆申込 7/1(水)～15(水)



ウォーターサバゲー & ミニキャンプ

竹で水鉄砲を作ってサバイバルゲーム!
みんなでミニキャンプ体験も!!
講師: October Deer 代表 杉山 隆さん
◇日時 8/7(金) 9:00～12:00
◇場所 安藤百福センター
◇定員 小学生20名(3年生以下は保護者同伴)
◇費用 500円(参加児童のみ)
◆申込 7/2(木)～7/16(木)



講座に参加して、今年の夏休みを
おもいっきり楽しもう!



夏休み1日 「游学」体験講座

申し込みは
コチラ ↓



宿題を持ってきて勉強しながら、
1日を通して3つの講座を体験!
夏休みの1日を文化センターで
「遊」んで「学」んで楽しもう!

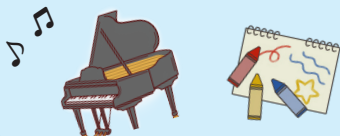


●日時 8/5(水)
8:00～17:00(予定)
●場所 小諸市文化センター
●定員 小学生30名 ●参加費 ひとり500円
●申込 7/1(水)～15(水)

★合間の時間には「ホールで遊ぼう」体験も実施!

■ソーゾーアート体験

ピアノ×語り劇×お絵描き
「ソーゾーリョク」でめしあがれ♪
目の前で奏でられる音楽と物語に耳を
傾け、頭の中に想い浮かべたことを
描いてみよう!
◇持ち物 色鉛筆、クレヨン等



■昼食づくり体験

夏休みは自炊にチャレンジ!
みんなで一緒にお昼を作ろう!
何を作るかはお楽しみに!
◇持ち物 エプロン、三角巾、マスク、
手ぬぐい
※アレルギーの有無についてご申告を
お願いします。



■J-POP ダンス体験

みんなで元気にダンスにチャレンジ!!
楽しく体を動かしながら、カッコよく
踊ろう!
◇持ち物 汗拭きタオル





美南ガ丘 小学校



「宇宙をかけるたたかい」

4年1組

たかの そう
高野 颯

ぼくの作品の題名は、「宇宙をかけるたたかい」です。
ぼくが、作品作りでくふうしたところは、大きく分けて三つあります。

一つ目は、絵をかくところ です。一つ一つていねいに、何度もやり直ししながら絵をかきました。

二つ目は、しょうがい物の配置です。ビー玉が落ちるいちを
考えながら、コースを組み立てました。一番むずかしかったのは、ゴールの配置場所です。三つ目は、そうしょくです。星をえがいたり、紙飛行機でたたかっている様子を表しています。

作り終わってから、たくさんの友達が遊んでくれ、「これ、おもしろいね。」と、言ってくれました。

たくさん考えたりくふうしたりして作ってよかったなと思いました。



「アスレチックのコロコロゲー」

4年2組

かいとう ひかり
海藤 輝

みなさんは、コロコロゲーを知っていますか。

ぼくは、図工の授業で、自分も相手もたのしいビー玉を転がすゲームを作りました。

ぼくは、「やったことがない人でも楽しいゲーム」というテーマで、作りました。

まず、中にあなをあけて、ビー玉が落ちるようにしてみました。次に、でこぼこの段ボール紙を下にはって、ビー玉がよそにいっちゃうようにしました。

最後に、何回か当たったら、最初にもどされるエリアも作りました。これは、友だちの作品を参考にして、やりとげました。

友だちの作品を参考にしたことと、自分の考えがうまくいったと思います。



「公園コロコロゲー」

4年3組

かわみつ あみか
川満 彩未華

私は、今回「公園」をテーマにしたコロコロゲーを作りました。そのためにいしきしたことは、三つあります。

一つ目は、色をいしきしました。理由として、見ている人に「きれいだな。」と思ってほしかったので、一つの箱に二色の紙を取り付けました。

二つ目に、もようをいしきしました。見ている人に面白いと感じてもらうために、それぞれの箱に、向きのちがう色をぬりました。

三つ目に、ビー玉を転がすルートがいしきしました。使う人に楽しんでもらえるように、様々なルートを作りました。例えば、上の箱から下の箱につながるすべり台を作ったり、カクカク進むめいろを作ったりしました。

これを使う人に「公園」のイメージが伝わると嬉しいです。

